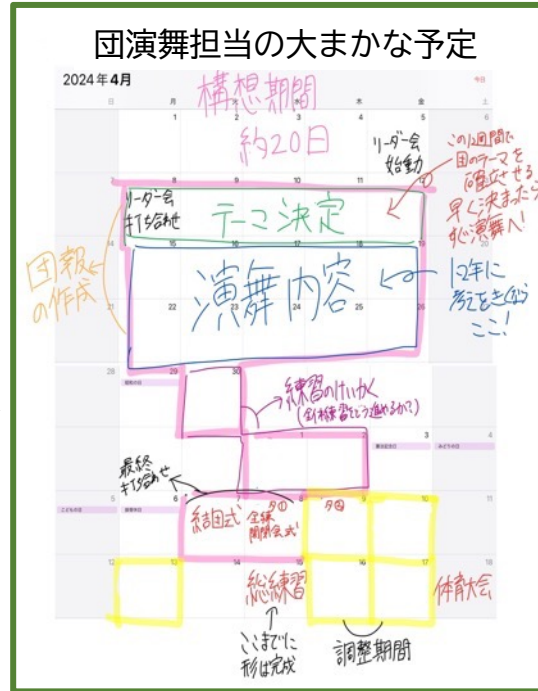


### 体育大会を振り返って

体育大会を参観いただき、ありがとうございました。生徒たちの活躍する姿をご覧いただけたことと思います。2週間経ちますが、改めて、体育大会に向けての生徒の頑張りとお職員のサポートを振り返り、ご紹介いたします。

3年生を中心とした実行委員会やリーダー会、全学年各クラスでの取組。特に、リーダー会では、団演舞、縦割り競技、学年競技の3つに分かれ、生徒たちが細かなところまで議論し、準備してきました。その一例が、右の予定表で、団演舞担当が大まかな予定を立てたものです。



全校ダンス「おてもやん」のフィナーレ(全写真、原田写真場提供)



三龍一虎 団画



閉会式での校歌合唱



### 各団長・副団長のコメント(2枚目3枚目へ)

団長・副団長に、体育大会を終えてのコメントを書いてもらいました。副団長コメントは、生徒集会での発表原稿を紹介しています。(一部抜粋)

生徒たちは、表には出てこない場面でも、このような着実な取組を進め、それを教職員がサポートしてくれました。体育大会当日の生徒の輝きは、このようなしっかりした事前の取組があったからこそだと思います。

大げさな言い方になりますが、「よりよい体育大会の実現に向け学校全体が一丸となって取り組み、大会当日に熱く盛り上がった経験」は、授業だけでは得られないものであり、学校で学ぶ意義の一つだといえます。

これからも、このような生徒主体となった教育活動を、職員も一体となってサポートしながら、進めていきます。

## 青龍団団長：高田昊希

今回の体育大会も生徒が主体となって取り組んだ体育大会でした。団での夕練や全体練習などで練習を重ねるたびに団の息があってきて、練習を始めた頃とは見違えるほど良くなり、振り付けを1から考え、ここまで来れたと思うと嬉しく、とても感動しました。体育大会ではみんな声を出して附属中のグラウンドを青龍団の明るく元気な群青の空気に包み込めたと思います。一人一人がしっかり声を出して優勝という目標に強い思いをもっていただけからこそ、皆が満足できるものになったと思います。

僕たちを支えてくださった先生方や団員のみんなには感謝しきれません。この体育祭に団長として参加できて本当に良かったです。

## 青龍団副団長：秋吉桜羽

応援団競演の練習の最初の方は、リズムや振りがわからなくてできこちない所もありましたが、練習を重ねるうちにだんだん細かいところまで揃うようになり、青龍団の心が一つになっていくように感じました。また、総練習後の皆さんの頑張りには、力強さを感じました。

目標にしていた総合優勝には届きませんでした。が、団全体で団結して、最高の思い出になったと思います。1年生は入学から一ヶ月ほどでの体育大会で大変だったかと思いますが、精一杯頑張っている姿が印象的で私たちも負けてられないなと感じました。2年生は、恥ずかしがるひともいましたが、多くの方はダンスを楽しんでくれたり、飲み込みが早い人もいて頼もしかったです。今年経験したことをぜひ来年に繋げて頑張ってください！3年生は最後に学年優勝をすることができ、思い出に残る体育大会にできたのではないかと思います。

最後になりましたが、運営にたずさわった3年生の皆さん春休みからの準備、お疲れ様でした。みなさんのおかげで、1、2年生との交流の場が増え、今年目標としていた、主体性を持った行動のできる仲間たちと最高の思い出を作ることができました。私たちがより良い体育大会を実現できるよう、アドバイスをくださった先生方本当にありがとうございました。

## 赤龍団団長：丸田怜

体育大会お疲れ様でした。みなさんこの体育大会を漢字2文字に表すならどの体育大会だと思いましたが？自分で体育大会を漢字2文字に表すと「最高」の2文字でしょう。最高の仲間と最高の先生、さらに最高の素晴らしいライバル。この最高で始まり最高で終わったこの体育大会それはまさに自分の一生の財産になったはずです。

赤龍団のみなさん、ありがとうございます。赤龍団のみなさんは一人一人最初から最後まで一生懸命諦めずに楽しめたでしょう。自分は、「誰かのために優勝するのか」をずっと言ってきましたがきっとその人に感動を伝えられたと思います。最高な体育大会にしてくれた全員に感謝を伝えたいです。

## 赤龍団副団長：野中いろは

私自身とても思い出に残る体育大会になりました。みんなが楽しめる体育大会になるようたくさんの方と協力し、話し合い、試行錯誤を重ねてきましたがどれもとても楽しく一つ一つの努力がいい思い出となりました。

一年生、リーダー会の指示をよく聞いてくれてありがとうございました。二年生、去年の経験をもとに率先して動く姿、とても頼もしかったです。三年生、特に熱い熱意を持ち、三年生らしいカッコいい姿を見せてくれてありがとうございました。

先生方、団練習でのアドバイスなど団全体を見守ってくださり、とても心強かったです。リーダー会のみなさん、暑い日差しの中たくさん練習し準備をしてくれて本当にありがとうございました。最高の仲間、最高の先生方とともにこの体育大会を迎えられたことにとても感謝しています。また、他団の頑張りや努力が目に見えたからこそ私たちも頑張ろうというやる気をもらうことができました。

中学校生活最後の体育大会で忘れられない思い出を作れたこと、みんなが主体となって体育大会に挑めたこと、体育大会を通していろんな人と繋がれたこと、とてもいい経験になりました。

## 白虎団団長：山本美乃

体育大会で、私は言葉の重みを改めて学ぶことができました。後輩に話すときは少しのニュアンスの違いでも高圧的に感じられてしまわないように気をつけました。練習中に財部先生が「何かいうときは一度褒めてから始めるといい」と言ってくださったおかげで、意識できるようになってきました。練習中にも笑顔が多く見られるようになり、より明るい雰囲気でも指示も通りやすくなりました。言葉はちょっとした違いでも相手に与える印象が大きく変わるので、意識していこうと思いました。

多くのことを学ぶことができました。白虎団の皆さんや1番近くでサポートしてくれたリーダー会、先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

## 白虎団副団長：中野正太

僕は、体育大会本番で、生徒全員が本気で真剣に競技に向き合い、お互いに協力しあっていく姿や、競技や応援にかける熱い情熱をさまざまな場面で見ることができ、とても感動しました。

今年の体育大会は、例年から変わる部分が多く、一年生だけでなく、二、三年生にとってもはじめてのことばかりで大変だったのではないのでしょうか。しかし、リーダー会をはじめとした三年生が様々な場面でリーダーシップを発揮し、その三年生のリーダーシップに応え指示を良く聞き率先して動いてくれた二年生や一年生の皆さん、そしてそんな生徒達を支え続けてくださった先生方のおかげでとても良い体育大会を作り上げることができたと思います。

僕が特に印象に残ったのは綱引きと団席での応援です。綱引きでは、普段あまり関わることの少ない他の学年の人と交流することができました。さらに、団席での応援は、各団が盛り上がり、一つ一つの競技に対して団で一体となって応援し、喜びなどを分かち合うことができました。今年の体育大会の目標は「主体、つながり、思い出」でしたが、それらの目標を十分に達成することができたのではないのでしょうか。さらに附中の伝統をまた少し新しいものとして受け継ぐことができた体育大会にもなったと思います。

## 黄龍団団長：宮田絢乃

この一ヶ月、団長としての責務を果たす為の様々な企画や提案の一つひとつに黄龍団のみんなが賛同して、積極的に協力してくれたからこそその総合優勝だと思っています。黄色のポンポン作りも、3年4組で楽しみながら、とても良い雰囲気で作ることが出来ました。また、各競技のコツやどうすれば一位が取れるかなど、みんなで同じ方向を向いて共通の認識の元に頑張れたことも「一致団結した黄龍団」としての強みでした。

そして何より、リーダー会のメンバーが与えられた仕事をきっちり遂行して、責任を持って1.2年生に教えてくれた成果だと感謝しています。最高の黄龍団の団長を務めさせていただき、とても幸せでした。

## 黄龍団副団長：勝谷陽仁

体育大会を通して感じたことは、おおきく分けて2点あります。

1つ目は、リーダーとして集団をまとめていくことの難しさです。団のリーダー会の全員の意見を統合するのはとても難しいことでした。特に、応援団響演の練習時間では、意見がまとまらず練習が止まることが多くありました。しかし、事前によく話し合い、役割分担をして練習に臨むことができるようになると、練習の効率がとても良くなりました。うまく役割分担ができた時の推進力はとても大きいもので、役割分担をしっかりとすることの重要性を感じました。

2つ目は、リーダー会だけでなく、団全体、そしてそれを支えてくださる方々との結束力を高めることの大切さです。黄龍団のリーダー会、特に総代の2人は、縦3クラスの生徒や担当の先生方と会って話すことを大事にしています。会話によって関係を築き、連携していくことによって、応援団響演や綱引き、その他の競技に一丸となって臨むことができました。そういった積み重ねが、結果として優勝という成果に繋がったのだと思います。

何か大きなことを成し遂げる時に最も大切なのは、「人とのコミュニケーション」であると思います。黄龍団の皆さん、リーダー会、先生方、他の団の皆さん、本当にありがとうございました。